



氏名 SS
所属 文学部 文化構想学科
学年 2年

留学先 短期留学（ソウル市立大学）
留学期間 2025/02/05～2025/02/20

留学レポート Study Abroad Report

私は、約2週間ソウル市立大学の Winter School に参加しました。留学先を韓国に決めた主な理由は、①プログラム参加費用が比較的安かったから、②韓国文化や韓国語に興味があったから、③大学で専攻しているアジア文化について学びが得られるのではという期待があったからです。

授業について

平日は毎日授業があります。午前の9～12時は韓国文化についての授業が英語で行われます。韓国の漫画、マスメディア、K-pop、ビジネス、経済、韓流ドラマなど多岐にわたる分野について、それぞれの専門の先生が授業をしてくださいます。私は英語が得意ではないので、授業についていけるか不安でしたが、比較的わかりやすい英語で、楽しい雰囲気ですべての授業をしてくださったので、楽に授業を受けることができました。内容もとても興味深いものばかりで、自主的にメモを取りながら授業を聞いていました。午後1～4時は韓国語の授業が韓国語で行われます。留学前に自分の韓国語レベルを答える簡単なアンケートがあり、その回答に沿ってクラス分けがされたようです。私が参加したときは、「初級：ハングルが書けない、中級：ハングルが書けて、いくつかの単語を知っている、上級：日常会話ができる」の3つのレベルに分けられていました。私は1回生の頃に第2外国語で韓国語を学んだり、個人的に少しだけ勉強をしていたことがあったので、中級のクラスで学びました。中級と言っても、初めは簡単な単語や文法から学ぶので、心配しなくて大丈夫だと思います。2週間を通して1回生の頃に学んだ文法の復習をしたような感じでした。（同じクラスの友人は、中級では簡単すぎるけど上級は難しすぎるから、間のレベルのクラスがあればいいのにと言っていました。）しかし、先生がネイティブの言い回しや発音を教えて下さったりと、勉強になることがたくさんあったので、つまらないということは決してありませんでした。とても優しい先生で、クラスメイトは全員先生のこと大好きでした。クラスには、チリ人、ドイツ人、タイ人がいて、皆明るくて優しい性格だったので、とても楽しい雰囲気の授業でした。授業が終わると完全に自由時間なので、ショッピングに行ったりカフェに行ったりと、皆思いのままに時間を使っていました。また、課外アクティビティの日が2日間あり、その日は座って授業を受けるのではなく、K-popダンスやチマチョゴリを着る体験などができました。非常に楽しく、貴重な体験でした。

バディについて

今回の短期留学では、3人組（留学生2人、ソウル市立大の学生1人）のグループが作られていました。留学前にzoomで顔合わせをして、軽く自己紹介をする機会があります。私たちのグループはとても仲良くなれたので、休日だけではなく授業後にも集まって、一緒にカフェ巡りをしたり、古着屋に服を買いに行

ったり、ご飯を食べたりしました。3人でいろいろな話ができ、互いの文化についての理解が深まりました。最後の日には手紙を交換し、泣き合うほど仲が深まりました。下はバディとの写真です。



寮での生活

私たち留学生の寮は、大学の敷地内ではありましたが、正門から一番遠くにある建物でした。普段授業が行われる教室は正門近くにあったので、寮から教室まで歩いて10分ほどかかりました。道中がとても寒かったです。寮は男子寮と女子寮に分かれています。私の部屋は4人部屋で、同じプログラムに参加し、



私と同じ日にチェックインした関東の学生2名、数か月前からすでに部屋に入っていた長期留学参加中のアメリカ人1人がルームメイトでした。皆とてもフレンドリーだったのですぐに仲良くなることができ、2週間本当に毎日楽しい日々でした。それぞれの机や棚、ベッドがあり、扉を閉めるとしっかり個室にすることができます。部屋は強力な床暖房により非常に暖かかったです。共用のトイレとシャワーは2つずつありました。1階にコンビニとランドリーがあり、朝食は前日の夜にそのコンビニで買っていました。韓国のコンビニは「1+1(1つ買ったならもう1つ無料)」「2+1(2つ買ったならもう1つ無料)」の商品がたくさんあるので、それを有効活用することでお得に買い物ことができました。

思い出

毎日、本当に楽しい日々連続でした。運のよいことに、バディのメンバーもルームメイトも気の合う人たちばかりで、出会ったその日から仲良くなることができました。様々なメンバーでご飯に行ったり、ショッピングをしたり、飲みに行ったりできたので、交友関係が一気に広がりました。韓国はカフェの数が本当に多く、ショッピングをして疲れた時の休憩場所には困りませんでした。どのカフェも本当にお洒落で、それまであまり関心のなかったカフェ文化に興味を持ちました。私の一番のお気に入りの街は、聖水(ソンス)というところでした。街全体が洒落ていて、可愛いカフェや古着屋がたくさんありました。ソンスには滞在中に4回も行きました。また、広蔵市場(カンジャンシジャン)という有名な商店街で、ユッケなどの韓国料理を食べることができたのも思い出です。どの料理も本当においしかったです。



気を付けてほしいこと

ここからは、参加を検討している方に向けて、私自身の経験を踏まえてどんなことに気をつければよいか書こうと思います。まずは、なんといっても「寒さ」に気を付けてほしいです。事前の説明会でも冬の韓国は寒いと散々脅されていたので、しっかりとしたダウンジャケットやタイツを準備して行きました。それでも日本を出て夜韓国に到着したとき、冷凍庫の中にいるのかと思うほど寒くて驚きました。日によってはそれほど寒くないと感じることもありましたが、基本的に極寒なので、寒さ対策は必ずしてください。(でも寒さのおかげで雪だるまをつくるという楽しい思い出もできました。) また、「鼻」に気を付けてください。空気の乾燥や大気汚染によって、鼻水が止まらなかったり、鼻が詰まって寝られなかった日もあります。(友人も同じようなことを言っていました。) 結構つらかったので、鼻炎の薬を持っていくなど対策をしてほしいと思います。あとは、バスに乗るのがとても難しかったです。韓国の街中は、視界にいつも必ず5台はバスが映っているのではないと思うほどバスが多いです。初日に大学の最寄り駅から大学前までバスを使おうとしましたが、そもそもの調査不足に電波が繋がらないといった不運が重なり、どのバスに乗ったらいいかわからず、とても困りました。適当に乗り込んだバスが間違っていることに気が付き、急いで降りて違うバスに乗るも、交通系ICカードの残高が足りず運転手さんに怒られ、泣きそうになりながらPAさんに電話をして正しいバスを教えてくださいというハプニングもありました。交通系ICカードはバスでチャージできないので、事前に十分チャージしておくことをお勧めします。(交通系カードはT-moneyカードとwowpassの2種類ありますが、wowpassはPayPayのようにスマホから送金でき、割り勘をするときにとても便利だったので、wowpassをお勧めします。) 最寄駅から大学までは少し遠いですが、歩いていけない距離ではないので、歩いていくという選択肢もありかと思います。タクシーを使い慣れている方はタクシーの方が確実かもしれません。また、大学周辺は急な坂道がとても多かったので、キャリーケースは1つにしておいた方がよいと思います。私は中くらいのサイズのキャリーケースしか持っていなかったのですが、それと家にあった小さいキャリーケースの2つを持っていきましたが、両手がふさがるのはとても不便でした。大きいキャリーケースを持っていない方は、レンタルするなどして、1つで済まされた方がよいと思います。そして、車に気を付けてください。日本では歩行者優先が当たり前ですが、韓国の車は待ってくれません。また、歩道なのに下りず、そのままスピードを出して走っているバイクもたくさん見かけたので、車両には十分気を付けてください。

最後に

何度も言いますが、本当に楽しく充実した2週間でした。韓国文化や韓国語に直に触れることで、濃く深い学びを得ることができました。また、韓国の方たちはとても優しくて気さくな方が多く、街中を歩いていると靴紐がほどけていることを教えてくれたり、大きなキャリーケースを抱えて階段を上っていると一緒に手伝ってくれたり、2週間のうちに何度も見知らぬ人に助けられました。

短期間なので留学初心者にもピッタリだと思います。韓国留学に少しでも興味のある人は、ぜひ参加を

検討されることをお勧めします。

